

# 歯と口腔の健康づくりの推進に関する 施策の実施状況（報告）

令和7年度

熊本市



# 1 ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進（歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・維持・向上）

各ライフステージに応じた「歯科疾患の予防（むし歯、歯周病、歯科検（健）診、フッ化物の応用）」と「口腔機能の獲得・維持・向上（不良習癖と不正咬合、咀嚼、オーラルフレイル）」の取組を行う。

## (1) 妊娠期及び胎児期、乳幼児期

### ア 令和6年度の取組結果等

取組名	取組内容及び取組結果等	
妊産婦健康相談	内容	母子健康手帳交付時に、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：527回 ・相談者数：1,961人
妊婦歯科健診・相談事業（委託）	内容	母子健康手帳交付時に妊婦に対して、受診券を発行し、歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	受診者数：2,539人
1歳6か月児歯科健診・フッ化物塗布	内容	1歳6か月児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。また、希望者には、フッ化物塗布を実施する。
	結果	・歯科健診 実施回数：229回 受診者数：5,428人 ・フッ化物塗布 実施者数：4,727人
3歳児歯科健診・フッ化物塗布	内容	3歳児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。また、希望者には、フッ化物塗布を実施する。
	結果	・歯科健診 実施回数：207回 受診者数：6,001人 ・フッ化物塗布 実施者数：4,439人
こどものフッ化物塗布事業（委託）	内容	8か月児に歯の健康手帳（フッ化物塗布券付き）を発行し、1歳児・2歳児・2歳6か月児に歯科医療機関でフッ化物塗布を実施する。
	結果	・フッ化物塗布 実施者数：3,932人

歯科健康教育	内容	子育てサークル等において、むし歯予防講話等を実施する。
	結果	・実施回数：１０３回 ・参加組数：９１０組
歯科健康相談	内容	区役所（育児相談）や子育てサークル等において、歯科健康相談を実施する。
	結果	・妊産婦 実施回数：６回 相談者数：１６人 ・乳幼児 実施回数：２６５回 相談者数：１，０５６人
フッ化物洗口支援事業	内容	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を行う。
	結果	実施施設数：１３４施設（うち新規実施２施設） ※ 認可外施設を含む。
保育所等における歯科健康教育	内容	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施する。
	結果	・実施施設数：１１３施設 ・実施回数：１２６回 ・参加者数：４，５０８人
乳幼児ママ・パパ教室	内容	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施する。
	結果	・実施回数：１回 ・参加組数：１１組
保育所等における歯科健康診断	内容	保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施する。
	結果	実施施設数：２１８施設

※ 令和６年度決算額

子育て世代包括支援センター管理運営経費 ６３，８３６千円

妊婦歯科健診経費 ９，２７９千円

幼児健診経費 ６８，１９５千円

公立保育園嘱託歯科医手当 ２，１９７千円

公立幼稚園歯科医報酬 １，０５５千円

保育所等フッ化物洗口支援事業 ８５８千円

こどものフッ化物塗布事業 7, 191 千円

# イ 令和7年度の取組内容

令和6年度の取組事業を令和7年度も継続して実施する。

## ※ 令和7年度予算額

子育て世代包括支援センター管理運営経費 72, 193 千円

妊婦歯科健診経費 13, 650 千円

幼児健診経費 72, 598 千円

公立保育園嘱託歯科医手当 2, 197 千円

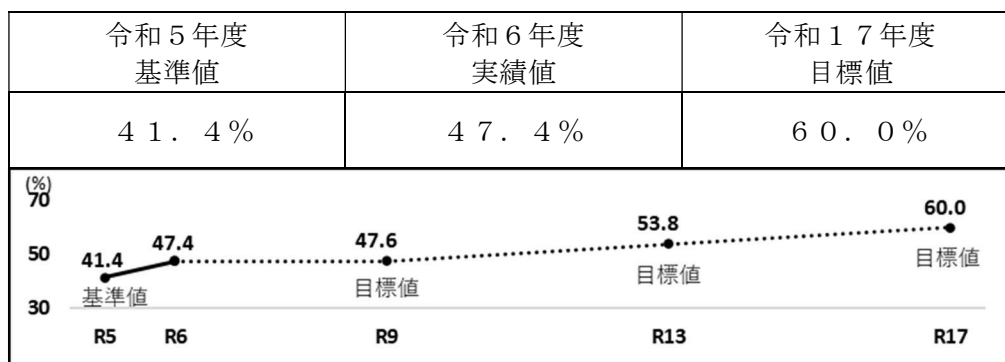
公立幼稚園歯科医報酬 1, 059 千円

保育所等フッ化物洗口支援事業 1, 192 千円

こどものフッ化物塗布事業 7, 548 千円

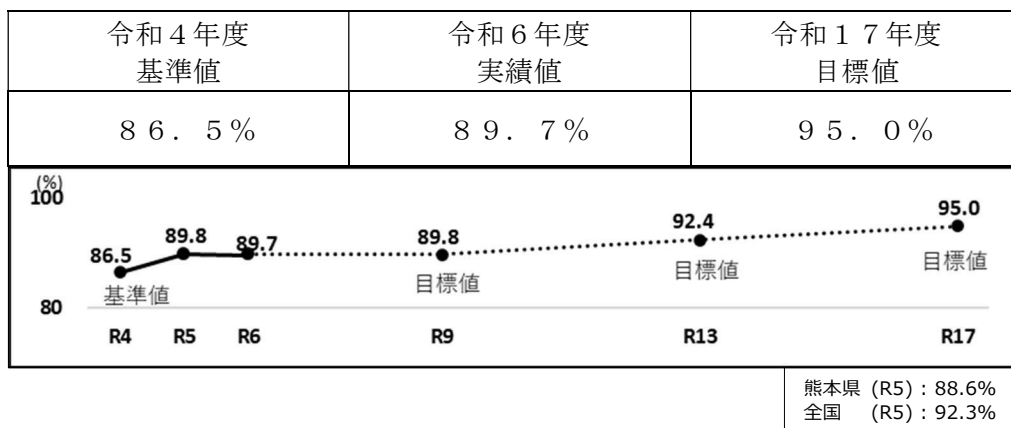
# ウ 成果指標

## (ア) 妊婦歯科健診受診率



出典：【熊本市】妊婦歯科健康診査

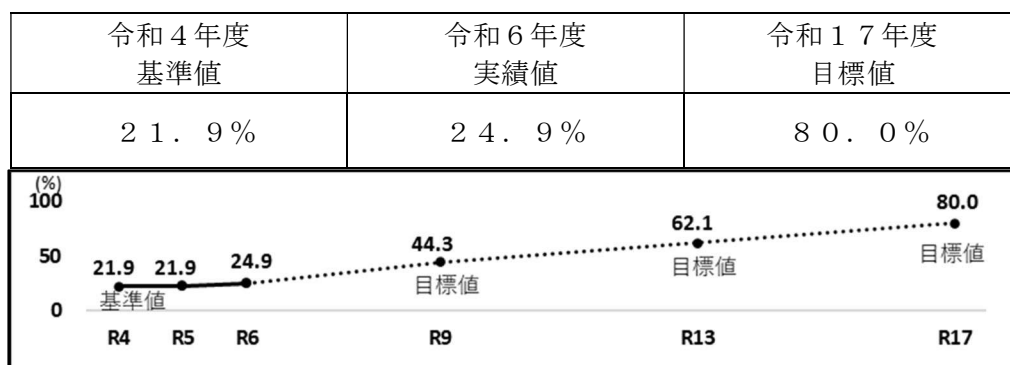
## (イ) 3歳児でむし歯のない者の割合



出典：【熊本市】3歳児歯科健診

【熊本県・全国】地域保健・健康増進事業報告

(ウ) 3歳児健診までに歯科医院で4回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の割合



出典：【熊本市】3歳児歯科健診

## (2) 学齢期

### ア 令和6年度の実績等

取組名	取組内容及び取組結果等	
小中学生に対する歯科健康教育	内容	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯磨き指導を実施する。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校数：96校（うち小学校92校、中学校4校）</li> <li>・実施回数：118回（うち小学校114回、中学校4回）</li> <li>・参加者数：12,269人（うち小学生11,694人、中学生575人）</li> </ul>
小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	内容	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を行う。
	結果	実施校数：8校（うち小学校6校、中学校2校）
歯科健康相談	内容	小中学生や保護者に対して、歯科健康相談を実施する。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：21回</li> <li>・相談者数：668人</li> </ul>
歯科健診	内容	就学時歯科健診及び学校歯科健診を実施する。
	結果	実施校数：138校
フッ化物洗口事業	内容	むし歯予防のため、小学校で週1回法によるフッ化物洗口を実施する。
	結果	実施校数：92校

※ 令和6年度決算額

小学校等フッ化物洗口事業 15,582千円

学校歯科医報酬 32,161千円

イ 令和7年度の実施内容

令和6年度の実施事業を令和7年度も継続して実施する。

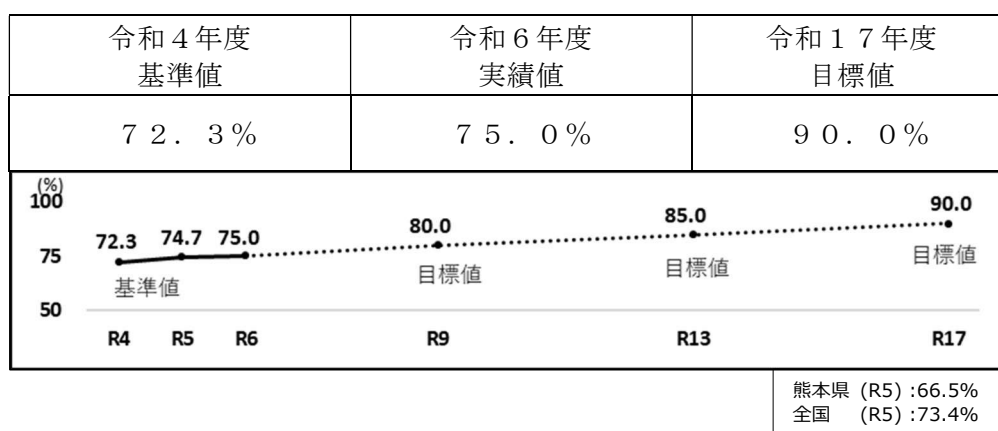
※ 令和7年度予算額

小学校等フッ化物洗口事業 20,645千円

学校歯科医報酬 33,206千円

ウ 成果指標

12歳児でむし歯のない者の割合



(3) 成人期

ア 令和6年度の実施結果等

取組名	取組内容及び取組結果等	
歯たちの健診	内容	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談、啓発を実施する。
	結果	・学園祭での実施：35人 (全体啓発数：231人) ・区役所での実施：80人
節目年齢歯科健診	内容	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期的な歯科健診を推進するため、節目年齢歯科健診を実施する。

	結果	受診者数：3,736人（うち20歳518人、30歳561人、40歳595人、50歳653人、60歳720人、70歳689人）
歯科健康教育	内容	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関連について歯科健康教育等を実施する。また、歯科健康教室において、歯科疾患の予防等についての講話や口腔ケアの啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：58回（うち生活習慣病予防教室4回、歯科健康教室54回） ・参加者数：372人（うち生活習慣病予防教室65人、歯科健康教室307人）
歯科健康相談	内容	成人期を対象とした歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：91回 ・相談者数：473人
健康ポイント事業	内容	スマートフォン専用アプリ「もっと健康！げんき！アップ くまもと」において、歯科健診時に健康ポイントを付与することにより、定期的な歯科健診を推進する。
	結果	ポイント獲得者数：延べ11,712人

※ 令和6年度決算額

節目年齢歯科健診 13,872千円

イ 令和7年度取組内容

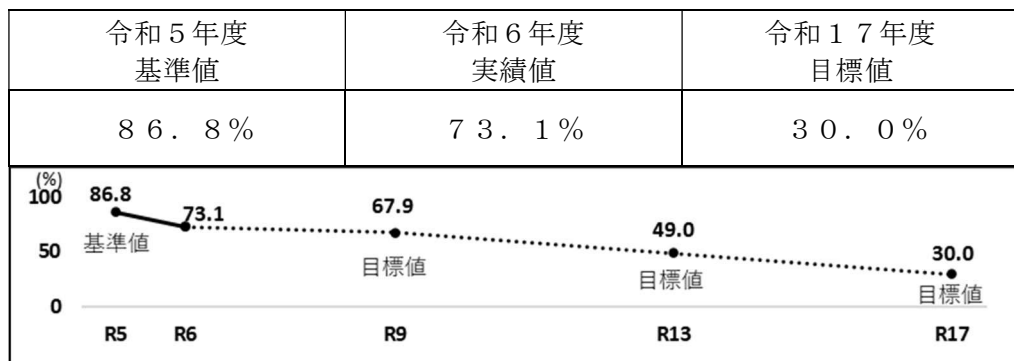
令和6年度取組事業を令和7年度も継続して実施する。

※ 令和7年度予算額

節目年齢歯科健診 21,533千円

ウ 成果指標

(ア) 20～30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合

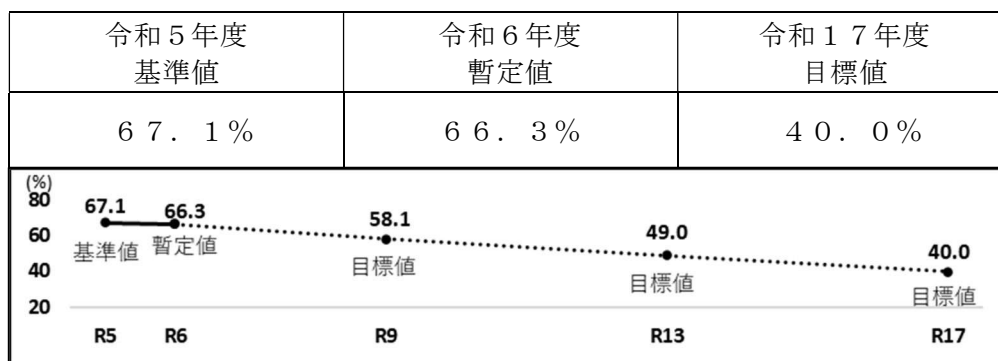


出典：【熊本市】R5データ：成人歯科実態調査

R6データ：節目年齢歯科健診



(イ) 40歳以上における歯周炎を有する者の割合 ※ 高齢期を含む。



出典：【熊本市】R5データ：R4歯周病検診、R4後期高齢者歯科口腔健診、R5成人歯科実態調査  
R6データ：R6節目年齢歯科健診、R6後期高齢者歯科口腔健診（暫定データ）

#### (4) 高齢期

##### ア 令和6年度の実施結果等

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020表彰	内容	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民を表彰するため事前審査を行い、達成者には表彰状を送付する。
	結果	被表彰者数：88人
歯科健康教育	内容	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：104回 ・参加者数：1,339人
歯科健康相談	内容	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：58回 ・相談者数：669人
後期高齢者歯科口腔健康診査	内容	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査を実施する。 ※ 受診対象年齢：75歳以上
	結果	受診者数：1,436人（令和7年5月末日暫定値）
短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	内容	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施する。 ※ 対象者：要支援1又は要支援2の認定を受けてい

プログラム)		る者及び厚生労働省が定める基本チェックリストにより事業対象者と認定された方で、本サービスを利用することにより機能の維持・改善が見込まれる65歳以上の者
	結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業所数：4事業所</li> <li>・利用者数：26人</li> <li>・実施回数：65回</li> </ul>
フレイル予防の啓発	内容	高齢者の通いの場（サロン）等において、オーラルフレイルを含めたフレイル状態の把握及び予防に関する講話を実施する。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：63回</li> <li>・参加者数：延べ1,768人</li> </ul>

※ 令和6年度決算額

後期高齢者歯科口腔健康診査 7,449千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 215千円

イ 令和7年度取組内容

令和6年度取組事業を令和7年度も継続して実施する。

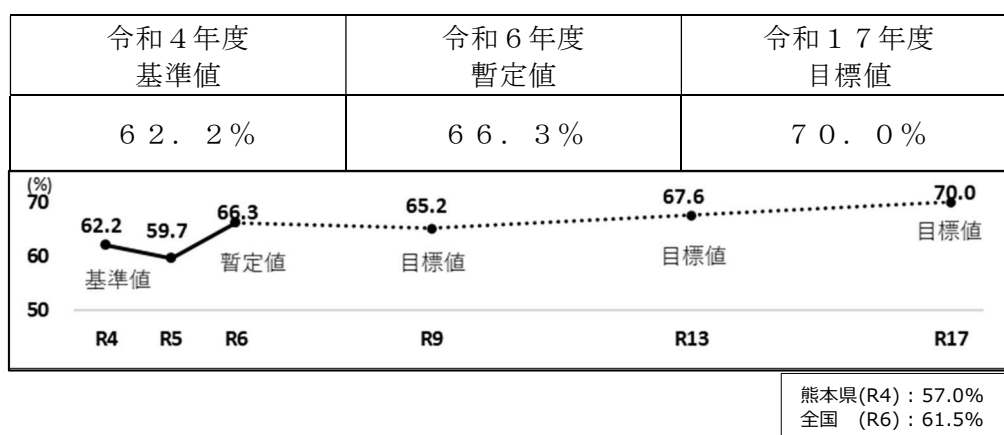
※ 令和7年度予算額

後期高齢者歯科口腔健康診査 11,645千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 452千円

ウ 成果指標

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者（8020達成）の割合



出典：【熊本市】後期高齢者歯科口腔健診（R6：暫定データ）

【熊本県】熊本県健康づくりに関する県民意識調査

【全国】歯科疾患実態調査

## 2 定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する 歯科口腔保健の推進

障がい児（者）等にとって歯と口腔の健康づくりが重要であることの啓発や障がい児（者）施設等での歯科検（健）診の機会を設けるための取組を行う。

### (1) 令和6年度の取組結果等

取組名	取組内容及び取組結果等	
適切な医療体制の確立	内容	障がい児（者）の歯科診療体制の強化のため、熊本県歯科医師会口腔保健センターが実施する事業に対する県の補助金の一部を負担する。
	結果	熊本県歯科医師会口腔保健センターにおいて、週3日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供した。 ・診療日数：203日 ・診療件数：4,108件
障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業	内容	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施する。
	結果	・実施回数：25回 ・受診者数：延べ81人
障がい児（者）口腔ケア事業	内容	歯科医師及び歯科衛生士が、障がい児（者）に対して障がい者支援施設等で口腔ケア及び個別相談会を実施する。
	結果	参加者数：100人

#### ※ 令和6年度決算額

熊本県歯科医師会口腔保健センター負担金 2,000千円

障がい児（者）口腔ケア事業 300千円

### (2) 令和7年度の取組内容

令和6年度の取組事業を令和7年度も継続して実施する。

#### ※ 令和7年度予算額

熊本県歯科医師会口腔保健センター負担金 2,000千円

障がい児（者）口腔ケア事業 300千円

### 3 誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備

市民一人ひとりが自ら歯と口腔の健康づくりを実践するために関係機関等とともに歯と口腔の健康づくりに関する情報提供を行う。また、８０２０推進員の養成・支援や災害時における歯科保健対策の取組を行う。

#### (1) 令和６年度の取組結果等

取組名	取組内容及び取組結果等	
８０２０推進員養成事業	内容	８０２０推進員養成講座を実施し、８０２０推進員を養成する。
	結果	修了者数：１００人
８０２０推進員活動支援	内容	８０２０推進員に口腔ケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動の支援を実施する。
	結果	・支援回数：２，１２８回 ・活動者数：６，９１８人
歯と口の健康週間	内容	毎年６月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に歯科保健に関する啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：９８回 ・参加者数：４，３９０人
校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	内容	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施する。
	結果	・実施回数：４９回 ・参加者数：８，２４３人
歯科救急医療対策	内容	休日歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施する。
	結果	通常初期救急体制として、休日の準夜間において歯科診療を実施した。 ・診療件数：１８０件 年末年始初期救急体制として、２４時間の歯科診療を実施した。 ・診療件数：４８１件
災害時の口腔ケアの啓発	内容	災害時の口腔ケアの啓発を、地域のイベントを通して実施する。
	結果	・実施回数：４９回 ・参加者数：４，２８０人

地域歯科保健 研修会	内容	関係機関・団体と行政が、歯と口腔の健康に関する現状や課題等について共有し、課題解決に向けた取組について理解を深める機会とするため、研修会を開催する。
	結果	参加者数：４９人
市民健口講座	内容	市民に歯科疾患の成り立ち及び予防法等の情報を提供し、自己管理能力の向上と総合的な歯と口腔の健康づくりを進めるため、講座を開催する。
	結果	参加者数：６１人

※ 令和６年度決算額

歯科保健推進経費 １，００３千円

健康くまもと２１推進会議（歯科保健部会） ２９０千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 ９１７千円

休日歯科当番医制事業 １，３４１千円

年末年始急患歯科診療事業 １，２９４千円

全国歯科保健大会経費 １，０００千円

(2) 令和７年度取組内容

令和６年度取組事業（単年度事業である、全国歯科保健大会を除く。）を令和７年度も継続して実施する。

※ 令和７年度予算額

歯科保健推進経費 １，０２６千円

健康くまもと２１推進会議（歯科保健部会） ３４０千円

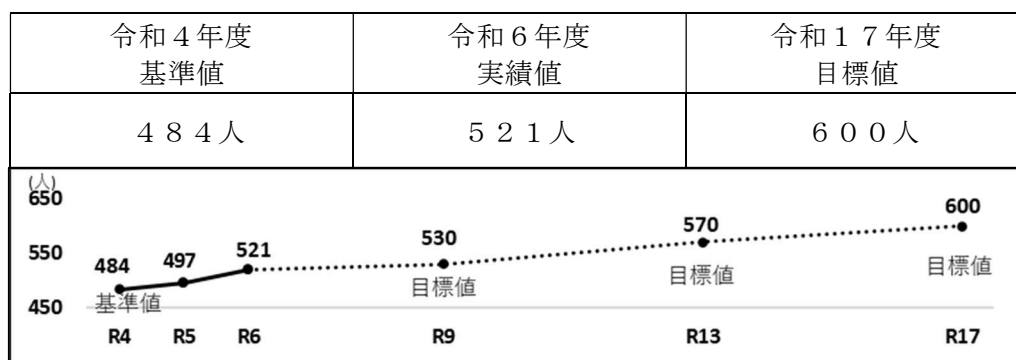
歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 ９１７千円

休日歯科当番医制事業 １，３４１千円

年末年始急患歯科診療事業 １，２９４千円

(3) 成果指標

８０２０推進員の活動者数（８０２０健康づくりの会会員数）



出典：【熊本市】８０２０健康づくりの会総会資料